

公共施設の最適化に向けた

取り組みを進めています



市には、学校教育施設や公民館施設、スポーツ施設などさまざまな公共施設があり、その大半の施設が建築から30年以上を経過し、老朽化への対応が必要な時期を迎えています。

こうした公共施設は、少子高齢化による人口構造の変化や人口減少、生活スタイルの変化などにより、必要とされる役割や量も建築当初から変化しています。

さらに、税収の減少や社会保障費の増大などの厳しい財政事情から、すべての施設をこれまでどおり維持することは極めて困難な状況となっています。

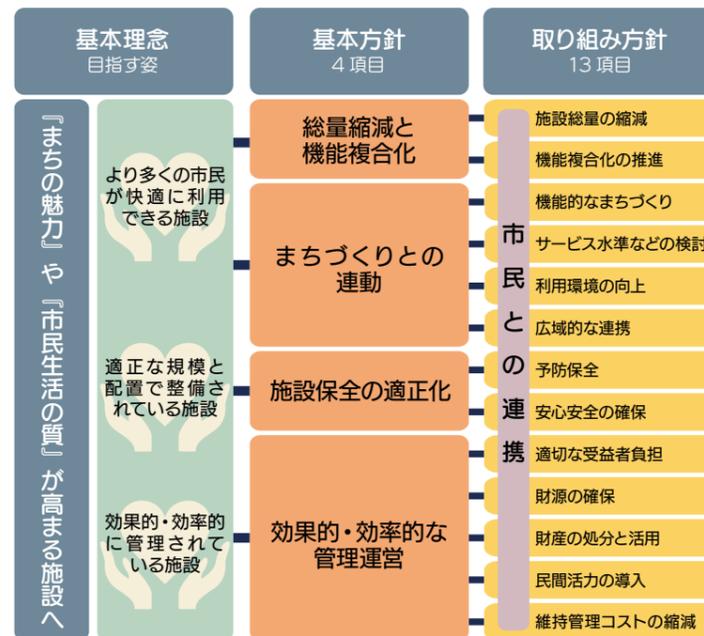
このようなことから、市では、公共施設を総合的かつ計画的に管理していくための「公共施設等マネジメント基本計画」において定めた、基本理念や基本方針、取り組み方針に基づき、公共施設の最適化に向けた取り組みを推進しています。

この計画の中で、特に市民生活に密接な関係のある公共施設について、施設分類ごとの現状と課題を整理しており、この課題解決への取り組みの先導的事業として「かすみがうらウェルネスプラザ（以下「ウェルネスプラザ」）の整備事業を進めています。

保健福祉系施設の課題解決の方向性

本市の公共施設は、保健センターや高齢者センターなどの保健・福祉に関する全市民的な機能を有する施設が市内に分散し配置されています。健康増進のまちづくりを推進する上で、こうした行政サービスの提供体制に関する課題解決を優先的に取り組む必要があります。

そのため、これらの機能の集約や複合化により、関係機関の連携強化による事業展開や新たなサービス提供、さらには、地域住民のコミュニティ活動の場としての利用に対応できるよう、幅広い健康増進の拠点として、市のほぼ中心部に位置する旧穴倉小学校施設を有効に活用し、多目的な施設へ再生することとしました。

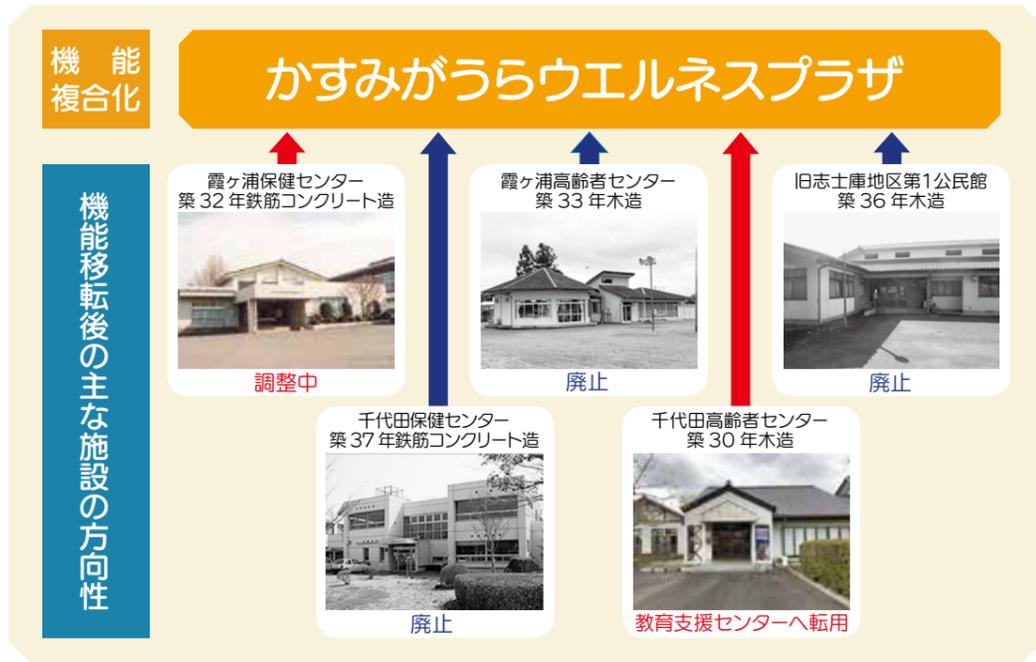


▲ 公共施設等マネジメント基本計画の概要

主要な関連施設の今後の対応

ウェルネスプラザへの機能複合化に伴い、保健センターや高齢者センターなどの全市民的な保健福祉系施設などに関する転用や廃止の方向性の整理を進めています。

▲ ウェルネスプラザイメージ図



ウェルネスプラザの概要

開館時期	令和2年6月開館予定
主な機能	保健センター、子育て世代包括支援センター、地域包括支援センター、福祉作業所、待合兼図書コーナー、健診室（研修室）、トレーニングルーム、シャワールーム、ロッカールーム、音楽室、多目的室、調理室（健康キッチン）、体育館、社会福祉協議会、シルバー人材センター



今後は、公共施設最適化のモデルとして、このウェルネスプラザ整備事業の手法や効果を検証し、公民館施設やスポーツ施設などのその他の公共施設においても、「より多くの市民が快適に利用できる施設」「適正な規模と配置で整備されている施設」「効果的・効率的に管理運営されている施設」を目指した取り組みを進めていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

実行財政改革・公共施設等マネジメント推進室（千代田庁舎）